



12月 園だより

令和4年12月1日
第三ひもんや保育園園長

吹き抜ける風がますます冷たくなってきました。しかし一方で透き通った青空を見上げると心地よさを感じられる季節でもあります。先日、そんな心地よさを毎日感じている2歳児クラスの子どもが空を見上げて「先生、見て見て。お月様が見えるよ」と知らせてくれました。よく見るとうっすらと三日月が見えます。「本当だ。よく見つけたね」と声をかけると他の子どもが「あれは三日月だね」と伝えてくれました。「よく知ってるね」と言うと「保育園から帰るとき見たよ。お母さんとお話したの」と教えてくれました。するとそのやりとりを聞いて別の子が「なんで（今は明るいのに）お月様見えるんだろうね」と不思議そうにしています。「不思議だね」と返事をしたあと少し難しいかなと思いつつ「お月様はね私たちが住んでいる地球と一緒に太陽のまわりを回っているんだよ」と話してみました。その子はしばらく考えて「地球か〜」と妙に納得した表情でつぶやき遊びに戻っていきました。きっと“地球”という新しい言葉に興味を持ってくれたのかもしれない。このようなやりとりは一日の中で幾度となく繰り返され、教え込まれたものではなく子どもの体験として積み重なっていきます。日常の中で子どもたちの生きること、育つこと、学ぶことに対する当たり前の欲求が満たされていくよう子どもたちの日常の気づきに共感できる職員集団でありたいと思います。幼児クラスは大きくなったね会に向けて友達と協力しながら物語の世界を楽しみ歌や合奏にも挑戦しています。当日は感染対策などご協力をいただきながら安全に開催していきたいと思います。

本年も保護者の皆様よりたくさんのご理解とご協力を賜りましたこと、大変感謝申し上げます。来年も引き続き、子どもの笑顔がえられる保育を行っていききたいと思います。新年もどうぞよろしくお願い致します。

〈12月の予定〉

大きくなったね会	(3、4、5歳児)
しめ縄作り	(5歳児)
身体計測	(全園児)
避難訓練	(全園児)

〈1月の予定〉

新年お祝い会	(全園児)
身体計測	(全園児)
避難訓練	(全園児)



異年齢の関わりの様子をお知らせします



「みんなが楽しく安全に」

5歳児クラスが園庭で遊んでいた時のことです。「氷鬼やる人?」「サッカーしようよ」等、思いっきり身体を動かして遊ぶことを楽しみにしていたのですが、乳児クラスの子どもたちが遊んでいます。「どうしようか?」という声が聞かれました。「思いっきりは走れないけど、早歩きすれば大丈夫だよ」「サッカーはやめた方がいいかな」「気を付ければいいよ」等、乳児クラスの子どもたちを気遣ってくれていました。タイヤとバスマットで家を作ってあげたり、三輪車をうまくこげない子がいると、そっと押してあげる等、一緒に遊んでいます。また、部屋に帰りたくないと言っている子がいると「もっと遊びたいの?先生待ってるよ」と声を掛け、手を繋いで担任の所へ送ってあげていました。どうしたら自分達の遊びが出来るのかを考えたり、小さい子のことを考えたりと思いやる気持ちが育っていると感じられる場面でした。これからも、異年齢で関わる時間を大切にしていきたいです。

乳児クラスの散歩の様子をお知らせします



0歳（ありんこ組）

「フワフワの草」

バギーに乗って散歩に出掛けています。色々な乗り物を見て「あっ」と指差し、保育士が「大きなトラックだね」と言うとニコニコと笑い、とても楽しそうです。碑文谷グラウンド横の芝生広場に着くと、子どもたちが這い這いや歩いたり駆けたりして広い芝生で遊び始めます。フワフワした長い草が揺れていて、手を大きく開いて草を掴もうとするとフワッと揺れて指の間からすり抜けました。左右に揺れる草を目で追い、揺れが止まると次はそーっと手を伸ばしています。そして揺れる草を優しく触って嬉しそうに笑い、保育士にも「んっ」と教えてくれました。保育士が「フワフワしてるね」と言うとニコニコと笑い、また草に触れたり引っ張ってみたりしていろいろと試していました。保育士と一緒に自然物にたくさん触れながら散歩先での小さな発見を一緒に楽しんでいきます。

1歳（ちょうちょ組）

「みーつけた」



サークル車に乗ったり、保育士と手を繋いで碑文谷グラウンドまで散歩に行っています。道中で働く車や電車を見ると「ピーポーいた」「ブーブ」と言いながら、道での発見も楽しみの一つになっています。グラウンドに着くと「まてまて～」と保育士と追いかけてっこをしています。広い芝生を行ったり来たりして、つかまると声を出して嬉しそうに笑っています。また、保育士が柱の陰に隠れ、別の保育士の「先生いないね」という言葉を聞いて姿を探してかくれんぼが始まりました。芝生を走って行き、ふと柱を見ると保育士の姿を見つけ「いた」と声を掛けています。次は柱の後ろに隠れ「どこだろう？」と探している声を聞いて、柱から出てきます。保育士や友達が近付いて来ると、慌ててまた柱の後ろへ隠れて見つからないつもりようです。「見つけた」と声を掛けられ嬉しそうにまた違う柱に向かい隠れています。保育士とやりとりを楽しみながら、ドキドキする気持ちを味わったり、思いっきり走ったり、笑い合い、心も体も開放して広い場所でたくさん遊んでいきます。



2歳（てんとうむし組）

「どんぐりころころ」

「お散歩行く～」と友達や保育士と手を繋ぎ、はりきって散歩に出発します。そうさん公園に到着しみんな体操をすると「これに乗る」「ぼくはすべりだい」とそれぞれ遊具に向かって走っていきます。動物の揺れる遊具にまたがろうとするとその下にどんぐりがいっぱい落ちているを見つけました。「あっ。どんぐりだ」と小さなどんぐりを指先でつまんで一粒ずつ集めます。あっという間に手の中はどんぐりでいっぱいになっていました。大事などんぐりを握りしめたまま走り出すのでどこに行くのかと保育士がついていくと滑り台に昇り頂上で止まっています。斜面を見下ろしながら手に握っていたたくさんのどんぐりをぱっと手放しました。ぱらぱらぱらという音とともに勢いよく転がっていくどんぐりに目を輝かせて大笑いしています。滑り降りると下に落ちていたどんぐりを拾い集め、再び滑り台へと向かいます。その子には、転がっていくどんぐりが既に目に浮かんでいるのでしょうか。転がす前から大笑いしています。秋の自然を満喫しながらいろいろな遊びを楽しんでいきます。